



月刊 竹田通信

竹田地域協議会報

不定期月発行 竹田地域協議会
平成19年6月29日 発行
TEL・FAX: 44-2535
E-mail: takeda@town.misasa.tottori.jp

きれいな竹田!! できました

『美しく・きれいな竹田づくり』を目的に、6月24日(日)竹田公民館下手の天神川法面の除草作業とコスモス種まきを行いました。前日からの雨も止み、涼しく絶好の作業日となったこの日は、地域内の各集落から25名の人が集い、互いに汗を流しました。

雑草が生い茂る法面を、コスモスが一面に咲く“きれいな景色”へと思いをはせながら作業を行った参加者からは、『草をたくさん始末するとやっぱり気持ちがあえなあ〜』と満足そうに笑っておられました。

この努力が実り、夏から秋にかけて美しいコスモスが、竹田地域を彩ることと思います。



大きな草
だわい



コスモスよ
咲いて
くれ〜

たくさん増えてネ 「オキナグサ」

若杉山に僅かに生息する【オキナグサ】を守ろうと、『オキナグサを守る会』(代表 澤成節子さん)と南小学校児童・保護者26名をはじめとした、総勢60名による【オキナグサ】の植栽を6月23日(土)若杉山で実施しました。

【オキナグサ】は、日当たりのよい草原に生育する多年草で、以前は普通に見られる植物でしたが、草地の減少と管理放棄による植生の変化に加え、近年、園芸目的の乱獲により激減しています。

三軒屋の方を中心に数年前に結成された【オキナグサを守る会】は、現存するオキナグサの①生育環境を整備、②苗を育て、③繁殖しやすい場所に植える。といった作業をメンバー全員でボランティアで行っており、今回はその取り組みに一役買おうと、南小児童が参加して活動が行われました。



苗210株を全員
山頂まで運びました

地道で、根気のいる作業に参加した子ども達も、少し疲れた様子でしたが、若杉山から見下ろす雄大な景色とメンバーからの『ありがとう』の労いの言葉にみんな満足して家路につきました。

昔あった風景を取り戻し、美しい若杉山の自然を後世へ守り、伝えていく活動を地域みんなで支えていきたいものです。



オキナグサ





「南小原子力災害時における緊急対応マニュアルを作成しました」 № 8 ～ぶりーふいんぐ No3～

(ぶりーふいんぐとは大切なことだけを短く伝えるという意味です)

学校事故が発生したとき、学校に不審者が侵入したとき、地震が発生したときに備えて「防災計画」を作成しています。あわせて、南小の位置している地域を考え、原子力災害時におけるマニュアルも作成しましたので紹介します。これは、地域の皆さま方の生活にも役立つ内容が含まれていますので、ぜひ参考にして下さい。

1 原子力災害の特殊性

地震、風水害、災害などにくらべて、緊急の程度が自己判断できない。

原子力災害の特徴は、次の3点である。

- ◇ 放射性物質などの存在を直接五感で感じるができない
- ◇ 被害の程度を自ら判断することができない
- ◇ 対処するためには放射性物質などに関する専門的な知識と技術が必要である



2 放射線被ばく防護の三原則

- ◇ 適当な物質で遮へいする（屋内退避、コンクリート退避）
- ◇ 事故の起きた施設からキョリをとる（避難）
- ◇ 被ばく時間を少なくする（避難）



3 原子力防災計画

- (1) 目的：原子力災害から児童の生命や身体を守る。
- (2) 基本方針：人命の安全確保を第一とする。
情報の正確な収集に努め、迅速かつ適切な対応をする。
関係機関及び保護者との密接な連携を図る。
- (3) 防災委員会：緊急事態に備え、原子力防災委員会を組織する。
委員長は校長とし、全職員を構成委員とする。
- (4) 平常時の対策
 - ① 防災に対する研修（教職員研修、防災訓練の実施、児童に対する日常の指導）
 - ② 施設設備などの整備・点検
- (5) 災害時の緊急対応

校舎内にいるとき

- 窓やドアを閉める
- 換気扇やエアコンを止める
- 食品にはふたをする、ラップをする
- うさぎを校舎内に入れる

校舎外にいるとき

- ハンカチを口にあてて移動する
- 避難したら手洗い、洗顔、うがいをする
- 雨や雪にはできるだけ触れないようにする
- 学校長に連絡し、判断を仰ぐ

登下校中

- 学校か自宅か、近い方に移動する
- 移動方法は校舎外にいるときと同じ

- * テレビ、ラジオ、防災無線などで流される情報に従って行動すること
- * 児童の下校について

事故発生から避難が必要な状況になるまでには、時間的に余裕があるので下校

A 通常下校 B 集団下校 C 職員引率のもとに各部落まで D 保護者引渡

原子力災害に限らず、様々な視点からの危機管理に備えて「安全で安心できる南小」にしていきたいと考えています。



伝えていきたい伝統行事 ～ 屋根葺き ～

先日、大谷で話をしていると、『今日は、旧暦の節句だけ、屋根に菖蒲を上げなあいけん。』とボツリと言われました。見た事も聞いた事も無いので、不思議に思って辺りを見渡すと、草を束ねた様ものが、家の屋根の4方に置いてありました。帰って調べてみると、これは節句行事の一つ『屋根葺き』というもので、旧暦5月4日に【よもぎ・菖蒲・かや】を束ねて家の屋根に投げ上げる昔からの風習であることが解りました。

「三韓征伐の帰り、亡き天皇に代わって総代将を務めていた神功皇后が産気づかれた際、急きょ河原に造った産屋で、出産された」とされる建屋の屋根が三種の野草であった。」とされる事が由来であるという事です。節句には鯉のぼりを揚げるなどの風習が一般的ですが、豊作同様、お産を願う予祝行事の1つとして、“三朝のならわし”を後世に伝えていきたいですね。

